

2024年(令和6年)

11月10日 第1940号

**足立区**

報道広報課

☎ 120-8510 足立区中央本町1-17-1

☎ 3880 5111 (代表)

**FAX** 3880-5678

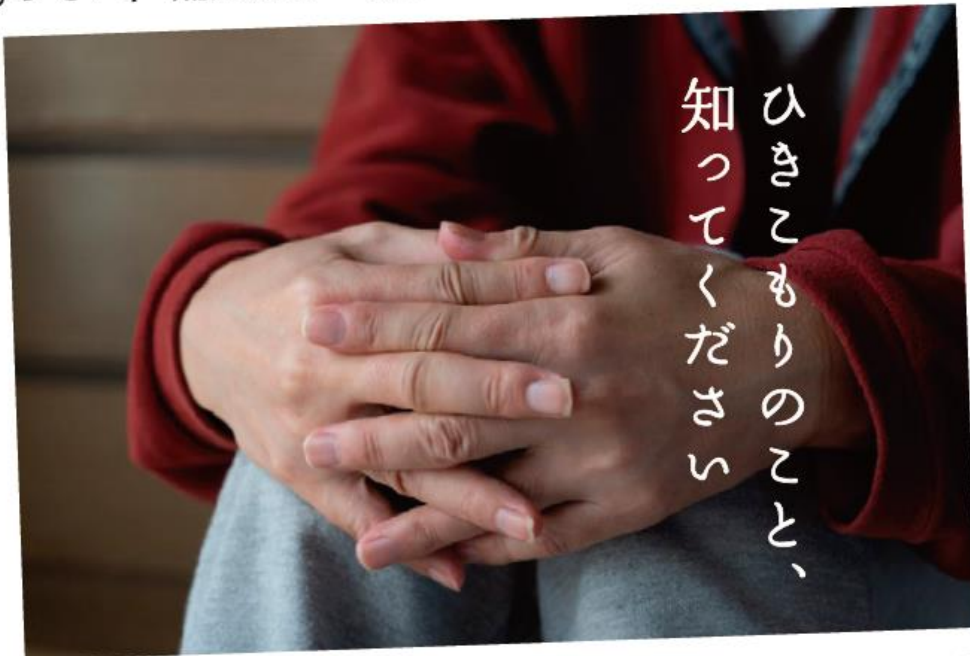
✉ voice@city.adachi.tokyo.jp

## 表紙イメージ

あだち

# 広報

体調が悪  
のせい？  
いから外  
部屋から  
出しない  
一歩も出  
ね。働くこ  
いんだから  
とが自立  
ら。病氣  
立の一歩



ひきこもりのこと  
知ってください

気？怠けているだけ？ 体調が悪いから外出しないのね。働くことが自立の一步  
 でしょう。親の育て方のせい？ 部屋から一步も出ないんだから。病気？怠けて  
 いるだけ？ 体調が悪いから外出しないのね  
 親の育て方のせい？ 部屋から一步も出ない  
 体調が悪いから外出しないのね。働くことか

ダミーコピーです今号は、文化やスポーツなど様々な分野  
 で、輝かしい成績を残した児童・生徒を紹介しま

ダミーコピー  
 です今号は、文化やスポーツなど様々な分野で、輝かしい成  
 績を残した児童・生徒を紹介しま

ダミーコピーです今号は、文

ダミーコピーです今号は、文化やスポーツなど様々な分野で、輝かしい成績を残した児童・生徒を紹介しま だミーコピーです今号は、文化やスポーツなど様々な分野で、輝かしい成績を残した児童・生徒を紹介しま だミーコピーです今号は、文

問先 ○○○○○○○○ ☎ 0000-0000

くわしくは 6・7 面へ

あしだら  
葦立ち

明けてましておめでとうございます。皆様には晴れやかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます◆昨年、区職員を対象に実施した「事業改善提言研修」の中で、広報紙の充実に向けた「二タリ」制度導入の提案がありました。区民の皆様のご意見を紙面に反映するために有効な手法と考えますので、新年度には実現に向けて動きたいと思います◆5年11月に実施した郷土博物館の「横山家住宅出張歴史の隣」には、「これを見てきました」とあだち広報11月10日号を携えてご来場いただいた方が大勢いらつしゃいました。「ネット時代に紙媒体なんて」とお考えの方も多かつしやるかとは思いますが、多くの方が毎月「あだち広報」を楽しみにしてくださっていることや、今もなお情報の手先として頼りにされる存在であることは事実です◆月に一度の特集記事は、区の最新の取り組みを広くアピールする絶好の機会であり、担当職員にとってはまさに腕の見せ所。街歩きのような楽しく柔らかな話題から、教育、介護といった区政の根幹に関わるテーマまで、幅広い内容が自慢です。特集をきっかけに広報紙に目を通す方が少しでも増えるよう、リクエストにも積極的に応えします。ご要望がございましたら担当まで遠慮なくお寄せください◆本年も一つでも多くの気づきや発見を皆様にお届けできるよう、なお一層紙面に磨きをかけてまいります。

足立区長 近藤 やよい

# 知ってください、ひきこもりのこと

区内でも特に空き家が多く分布する千住。「持ち主の高齢化」「家屋の老朽化」など、空き家に関する様々な問題を抱えています。そんな中、千住の空き家を活用し、まちの新たな魅力を生み出している人たちがいます。

※区の空き家問題の現状・対策事業などについては、12面でくわしく紹介しています

【問先】広報係 ☎3880-5815

## 中面イメージ

### 特別座談会

## 家族の会の活動や皆さんの思いについて

### 千住の歴史をみてきた家屋

近藤 待ちに待った公演が、5年12月からシアター1010ではじまりました。呂太夫 良い劇場ですねえ。とにかく音響が良いですし、人形もよく見えます。太夫 夫ゆうや三味線が登場する床ゆかしの回転もすっかりできて、字幕も使えて、言うことなしですよ。劇場を出れば、おいしいもんを飲



み食いできるお店がいっぱいの、にぎやかなまちです。やっぱり劇場は、まちなかにあるのが本来の姿やないですかね。

近藤 千住に宿場ができて、来年で400年です。呂太夫 そんなに長い歴史があるまちなんです

### 千住の歴史をみてきた家屋

夫ゆう節ぶし★が今の形になったのも、かなり昔のことですよ。竹たけ本もと義吉太夫夫ゆうが、作者の近ちか松まつ門もん左ざ南え門もん組んで、「出しゅっ世 景かげ清きよ」を上演した1685年がはじまりとされていますから。近藤 伝統ある芸能ですが、ちょっと数居が高く感じてしまうかも。呂太夫 いやいや、そんなことはありません。

誰でも楽しめると思いますが！ 古典芸能というのは、昔のものが目の前でとーんと演じられちゃって、今の人にとっては、何でもかんでもきつと新鮮なはずなんです。はじめて文楽を見たら、そら忙しいですよ。太夫はとんでない大声を出し、太ふと替さおという大きな三味線がベンベン鳴るし、人形の後ろでは違う人々が顔を出して、字幕は見えないかんし、筋も追わなあかん。でも、それでええんです。そうやって、あっちこっち見たり聴いたりしているうちに、その人のおもしろいと感じるところを、ちょっとずつ拾ってもらえるはずですから。

近藤 昨年9月に区内で開かれた文

### 千住の歴史をみてきた家屋

呂太夫 あのとときは、おもしろかったですよ。はじめはちょっとかしこまっていた人たちが、どんどん盛り上がりだされて。地元の大阪は別として、全国あちこちで公演 ってきたけど、あれだけよく乗ってくれるお客さんは、ほかにほおびませんでした。足立区は特別ですよ！ 文化を楽しむ姿勢や感性が文楽の生きた大阪に似てると違いますか。近藤 ええっ！ それは、最高の褒め言葉かもしれません。一生をかけて進む芸の道 近藤 一つの物語を太夫と三味線と人形で描き出す。文楽は三位一体の

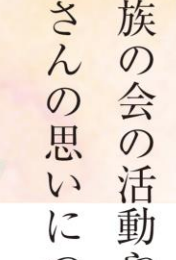
代議  
〇〇〇〇さん  
ますたまでに戻さてくれませす  
は意味ありますから、なぜにも  
結びつたないた。代りにする



芸と呼ばれますね。呂太夫 僕は、そこにお客さんも含めて、四位一体やないかと思うます。文楽の人形はもととは木で作られて、ただの木で千住の歴史をみてきた家屋 呂太夫 僕も、そこにお客さんの反応まで、気が回りますでしたね。それが、このごろよくや、あ、今お客さんも乗ってくれてるな」と感じられるようになったわ



総務  
〇〇〇〇さん  
ますたまでに戻さてくれませす  
は意味ありますから、なぜにも  
結びつたないた。代りにする



広報  
〇〇〇〇さん  
ますたまでに戻さてくれませす  
は意味ありますから、なぜにも  
結びつたないた。代りにする



広報  
〇〇〇〇さん  
ますたまでに戻さてくれませす  
は意味ありますから、なぜにも  
結びつたないた。代りにする

### ひきこもりとは…

築100年を超える日本家屋をそのままの姿で活用。平成30年から足立区・芸術大学と連携した「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」が運営する文化サロンとして、人と人・人と文化をつなぐ拠点となっている。

築100年を超える日本家屋をそのままの姿で活用。平成30年から足立区・芸術大学と連携した「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」が運営する文化サロンとして、人と人・人と文化をつなぐ拠点となっている。

### 千住の歴史をみてきた家屋

足立区長 近藤やい ますたまでに戻さてくれませす  
は意味ありますから、なぜにも  
結びつたないた。代りにする



朝飲むと、喉から胃や腸までみんな調子が良いんですよ。内弟子をしてた師匠(四代目竹たけ本もと越こし路じ太夫)に作ってるうちに、自分も飲むようになったんです。近藤 なるほど。私も試してみようかしら。呂太夫 ぜひ！ おすすめしますよ。記念すべき襲名披露は北千住で近藤 呂太夫師匠に、はじめて千住で語っていただくのは、5月に行われるご自身の襲名公演のときになりますね。十一代目を継がれる豊竹若太夫の先代(十代目)は、呂太夫師匠の

お祖父さまだとか。お祖父さまは、どのような芸風だったのですか？ 呂太夫 豪快で圧倒的な迫力のなかには深い情あって、とにかく最初から最後まで全力疾走。オリンピック選手の走法にたとえられたほどで、とても真似できません。けど、僕の声帯や格に千住の歴史をみてきた家屋 もありそうだから、この義太夫節を作りたいと思っています。近藤 この歴史に残る公演が足立区で行われることを誇りに感じてくださっている区民も多いと思います。呂太夫 僕も光栄に思います。まだまだ自分には成長できる余地があると思っていますから、頑張らせていただきますよ！ ★…当時の大阪で人形芝居「人形浄瑠璃」の語りとして成立した三味線音楽4/14の方がイベントを開催できるよ！パイロットプログラムを用意しています。音まちのメンバーと一緒にイベントをつくるんです。年々利用件数も

### 足立ひきこもり家族会

築100年を超える日本家屋をそのままの姿で活用。平成30年から足立区・芸術大学と連携した「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」が運営する文化サロンとして、人と人・人と文化をつなぐ拠点となっている。

## セーフティネット足立が支援します

築100年を超える日本家屋をそのままの姿で活用。平成30年から足立区・芸術大学と連携した「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」が運営する文化サロンとして、人と人・人と文化をつなぐ拠点となっている。

築100年を超える日本家屋をそのままの姿で活用。平成30年から足立区・芸術大学と連携した「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」が運営する文化サロンとして、人と人・人と文化をつなぐ拠点となっている。



## ご相談はお気軽に「福祉まるごと相談課」へ



築100年を超える日本家屋をそのままの姿で活用。平成30年から足立区・芸術大学と連携した「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」が運営する文化サロンとして、人と人・人と文化をつなぐ拠点となっている。